

クラス番号	241	ゼミタイプ	サービスラーニング型
		担当教員名	角崎洋平
テーマ	構想した政策を地域との協働で実現してみよう！		

ゼミナール概要

■ 目的

政策形成実践特講Ⅰで提案した政策案の実現に向けて努力することで、政策実現のためにNPOなどの地域の団体と協働していくことがいかに重要かを理解する。同時に地域の団体と協働していくために必要な力（政策構想力、リーダーシップ、コミュニケーション能力）を身につける。

■ 内容

総合政策専修の1年生の多くが履修する「政策形成実践特講Ⅰ」では、知多市や東海市から地域課題が提示され、みなさんはその課題を解決すべく政策（企画）案を作成しています。12月には最終報告会があり、各市の公務員から直接コメントをもらいます。

そのコメント、次のチャレンジに活かしましょう！

せっかくだから、その政策案、ブラッシュアップしたうえで実現してみましょう！

とはいえ、おそらくみなさんの考えた政策は、みなさんだけの力では実現することは難しい面が多いでしょう。そこでこのゼミでは「サービスラーニング」という枠組みを使って、地域のNPOなどの団体の力を借ります。サービスラーニングとは、地域貢献活動（サービス）を通じた学び（ラーニング）です。みなさんの「気づき」「思いつき」「解決策」を、地域との協働でかたちにしていきます。

■ 補足事項

- ・1年生のときに提案した政策案（企画）とは異なる政策案（企画）、たとえば他のグループが提案した政策案（企画）の実現に「乗り換え」してもよいです。対象とする市を変えてもよいです。
- ・参加者のバランスによっては、政策実現のためのグループについて、人数調整をする（別の企画へのグループ変更を含む）可能性もあります。

■ 授業計画：

4月：オリエンテーション、政策形成実践特講で学んだことの確認、提案した政策（企画）案の再確認

5月：提案した政策案を、各市の総合計画や行政計画のなかで位置づけ、提案内容をブラッシュアップ（政策（企画）案の抜本的な修正や新規提案もありえる）

6月～7月 行政や地域の団体と協力して、政策の実現に向けて準備をする

8月～9月 提案した政策（企画）を実現する（現場での実践。5日程度）

10月 実施した政策（企画）実践の活動報告とリフレクション（協力先スタッフも交えた「ふりかえり」）

11月 実施した政策（企画）の自己評価（どのような効果があったか、改善点はないか、考える）

12月 最終報告会に向けた準備

→ その後個人レポートの提出

担当教員からのメッセージ



地域と協働する力は、これからの公務員に必要な力です。いや、公務員でなくても社会福祉協議会の職員になろうとすれば常に求められる力です。

また、こうした力は民間企業で就職する場合でも必要となります。SDGsや企業の社会的責任が求められるなか、地域のNPOや行政との連携が重要になるからです。

政策形成実践特講Ⅰでのみなさんのチャレンジを、2年生での新たなチャレンジにつなげて、充実した4年間を過ごして希望の進路に進む基礎固めを、このゼミで行ってください。